

謹賀新年



# たぐすい

TAKUSUI

1999 JANUARY No.507

1

賀正 新年のご挨拶

# COLUMN

# 拓水 JANUARY CONTENTS

COLUMN 2  
クイズ&パズル

賀正 3  
新年のご挨拶  
小川 守男 貝原 俊民  
秋武 宏 高崎 伸彦  
丹下 勝義 植村 正治  
鈴木甚左エ門 木下 清  
吉岡 修一

TOPICS 9  
平成10年度ガザミふやそう会連絡会議を開催/  
第6回全国漁協大会が開催される/

ズーム 10  
魚食普及で頑張っています/

栽培漁業センターです 11

普及員だより 12  
「魚礁」について

兵庫JCC通信  
多様な担い手の育成へ  
JA農業生産法人育成対策セミナーを開催  
兵庫経済連が「キャッチくん杯争奪新人戦・少年ソフトボール大会」を開催

巻末 essay 13  
正月について考える

マリンバイオテクノロジー  
第5話 細胞融合によるノリの品種改良-2

謹賀新年 14

こちら海ですロケだより  
冬恒例!!兵庫自慢の鍋料理  
～神戸市・洲本市・豊岡市より～

◆クイズ&パズル  
◆クロスワードパズルが静かなブームだというが、趣向を凝らしたパズル専門誌がたくさん書店に並んでいる。マスを埋める問題も、簡単なものから難問まで種類が多く暇つぶし以上の楽しみになる。テレビ番組では視聴者参加のクイズ番組も高視聴率を誇り、出場者はタレント並みの人気でクイズ道の達人などと持て囃されている。昔から『なぞ掛け/判じ物』として言葉遊びを楽しんだものだが、クイズのものを解明するのは痛快なことだった。クイズは広範な知識を必要とし、パズルは縦横に閃く知恵と根気がいる。

◆クロスワードパズルが登場するのは一九一三年。ニューヨークの新聞に掲載されて、大いに人々の関心を誘ったが、日本へ持ち込まれたのは大正時代の末だった。当初は「十字語判断」と称し、福沢諭吉が創刊した政界紙の付録として使われ、お堅い新聞が粋なことをすると人気を呼び大いに受けたという。その知的な遊戯が、延々と現代に続いているのである。電車の中で懸命に解答を考えている人がいると、つい口出しをしたという思いに駆られるが、それは禁物なのだ。パズルは考え倦んでいる時こそ至福のひとつなのだから。

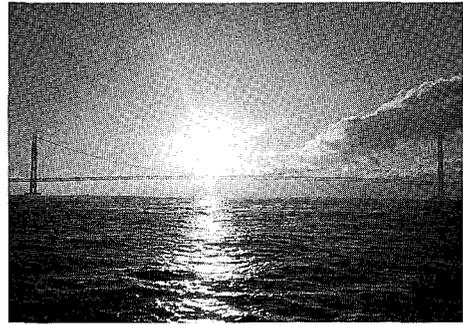
◆ペントミンパズルは、アメリカの数学者が考案した「数学遊戯」である。「正方形5が作りだす全ての形の12個」を使って6×10のマス目にはめ込むもので、組み合わせは二千三百以上といわれている。これは、遊び始めると夜の更けの忘れたままうろたえる程の強烈な愉しさである。やっとうろたえる程の解明が出来たところで一服している。

◆今一つパズルで白犬の尾は「ジグソーパズル」である。十年前に大きなブームを呼んだスリルと発見の喜びに溢れたゲーム。出来上がる迄は何日もかかり完成すれば見事な芸術品となる。ジグソーの刃型をデザインしたものは奇妙な錯覚を起こし、手間ヒマがかかっ

て実におもしろく面白かったが、ぜひお試しを。蛇足ながら白犬の尾は面白い(尾も白い)意。(遊方子)

## 今月の表紙

### フォトギャラリー



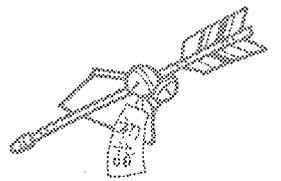
表紙写真  
秀和さん  
〈県漁連〉

### フォト歳時記 輝ける海峡

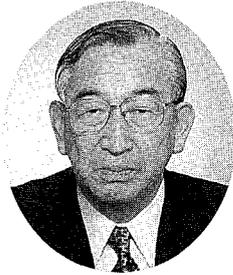
明石海峡大橋越しに太陽が上がる。薄暗い海面が朱色に染まり、辺りが急に広くなった感じになる。船の影も少なく、キラリ燦く陽光が、一日の始まりを告げている。風が冷たく手が痛いほどだった。「海峡大橋を入れて朝日」という注文を受けて、天気予報を聞きながら機会を待った。朝日が海上に現れるのは一瞬だから油断できない。連絡船の船尾にカメラを据えて、太陽の顔が出るのを待つ。

「拓水」は漁協と漁協系団体を絶く「コミュニケーション」の場です。報知したいこと、文芸など。皆さんの投稿は大歓迎いたします。裏面の発行所「拓水係」宛送付ください。

# 賀正



## 新年のご挨拶



兵庫県漁業協同組合連合会

代表理事会長 小川 守男

年頭に当たり謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

平成になって十一回目の新年を迎えましたが、「平成」という年号には『天地に平和が造成される』という意味が込められ制定されたものでありますが、昨年はその意に反し暗く寂しいニュースが多々ありました。今年こそは平成に相応しくキラリ輝く希望の年であって欲しいものと念願する次第であります。

さて、昨年を振り返りますと、但馬地区ではご承知の通り、新海洋法時代の重要な鍵とも言える「日韓新漁業協定」は、漁業者の願いを無残に打ち砕く形で政治決着し、将来に大きな禍根を残すことになりました。この上は本会二百海里対策本部を中心に本県漁業者の損害を少しでも軽減するための運動を、西日本関係県との強調を図りつつ引き続き取り組んで参りたいと存じます。また内海地区にあっては、経済不況や輸

入水産物の影響もあり、漁船漁業は深刻な魚価低迷が続いており、加えて漁獲努力にもかかわらず水揚げ高も落ち込み大変に厳しい状態にありました。ノリ養殖漁業では高水温によりやや遅れ気味のスタートとなりましたが、色落ちの影響が少なかった昨年度以上に、良い成績が収められるように期待したいものであります。

また、昨年十一月に開かれた第六回漁協大会では「食料、環境、日本の漁業を次代へ」をスローガンに、『国民生活に寄与する活気あふれる漁業・漁村づくり』と、『二十一世紀を切り拓く漁協系統事業・組織改革の遂行』という、新たな運動方針が決議されました。経済構造の変革が急ピッチで進行する社会情勢の中で、私たち漁協系統も変革能力を発揮し、この競争のなかで新しく生まれ変わることが求められており、二十一世紀を目前にした今、望ましい水産業の在り方について「漁業基本法の制

定」が急務とされており。

そして、国民への安定的な食料供給の一翼を担う漁業にあっては、日本型食生活に不可欠な水産物供給という国民の負託に応えることが責務であります。新たな海洋秩序へと移行する状況の中で、漁業者に託された役割として、水産資源の持続的な利用を考えながら自主管理と公的管理を合理的に組み合わせ、資源管理型の漁業を実践していくことが重要かと思えます。基本的には水産資源の維持管理は漁業者自らが努力していくべき課題でもあります。また、これまで取り組んできました「採る漁業からつくり育てる漁業」の一層の推進は、漁業経営の安定はもとより組織体制の強化に繋がることと捉え、漁場の環境保全にもなお一層の努力を払う必要があります。時はま

さに「環境」と「国際化」をキーワードとする時代であり、私たちもこうした課題に意欲的に取り組む、二十一世紀の明るい漁村づくりに向かって飛躍する時を迎えています。今年には十二支の四番目の卯年であり、ウサギと言え、その性格から温順な感じを受けますが、『ウサギの登り坂』という諺があります通り、ウサギは上り傾向にある時は快調に走れますが下り基調は至って苦手としていますことから、この一年が上り傾向へと変化して行くことを強く願うところでもあります。二十世紀の締めくくりを間近に控えた新しい年の始まりとして、所信の一端を述べましたが、県ご当局の倍旧のご指導を始め、会員各位のより一層のご理解とご協力を切にお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

## 兵庫五つの国 一つの調べ



兵庫県知事

貝原俊氏

初日の光に 朝霧ほどなく薄れ  
五色に映える 瑞雲の下はるか  
光り輝く兵庫の にこやかな面差し  
わき上がる楽奏 今日を愛でて清新

遅しく躍動するピアノは 摂津  
旋律華麗なバイオリンは 播磨  
但馬のチェロは 美しく柔らかに  
丹波のピオラ その余韻ほのぼの  
たゆとう波 コントラバスは淡路か  
個性豊かな五つの国 音色ひとつに  
いま 幸せつづる ふるさと兵庫  
志高く 私たちの手で拓き歩もう  
二十一世紀 希望と歓喜の道  
明日に向かって 共に奏でよう  
「こころ豊かな兵庫」五重奏  
さあ 晴れやかに さわやかに

# 新年を迎えて



兵庫農林水産部  
水産課長  
秋武 宏

明けましておめでとうございます。

漁村の皆様には、ご家族お揃いで清々しい新春をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

新しい年が輝かしい希望と飛躍への期待に満ちた歳月になりますよう祈念申し上げます。

顧みますと、昨年は長引く不況により、企業倒産が続き、個人消費が低迷、雇用情勢も深刻な事態に陥るなど、日本の経済・社会は大変厳しい状況下になりましたが、そのような中で、四月には待望の明石海峡大橋が開通し、淡路島は多くの来島者で賑わいをみせたところであります。

水産関係では、竹島の領有権絡みで難航していた日韓新漁業協定交渉が、九月二十五日、政治決着によって急速基本合意されましたが、その合意の内容は、山陰沖の日本海に底びき網漁業などの好漁場を含む広範囲な暫定水域が設定されるなど、但馬の漁業者の皆様にとって期待と掛け離れたものとなってしまいました。

これまで、漁業系統団体、地元の漁業関係者の皆様は、国や関係機関に対して再三要請活動を重ねてこられました。県にお

きましても、基本合意に先立ち、日本海中部の関係六府県により、「暫定水域の設定については、安易に妥協しないこと」等を政府に要請、十月には水産庁に対し、「新協定は、水産資源の保存を図る国連海洋法条約の精神に反する」という基本合意への反対を表明するとともに、十二月には、排他的経済水域内での底刺網漁業の禁止等の漁業秩序の確立や水産振興策の実施を政府を強く求めたところであります。

こういった中、国においては、平成十年度の第三次補正予算において二百五十億円で(財)日韓新協定対策漁業振興財団の設立を行う等を内容とする日韓新協定関連漁業振興対策を示し、十二月十一日に国会で日韓新漁業協定批准の承認を得たところであります。国としては、本年一月二十三日までに韓国と批准書を交換し、新協定を発効させることとなっておりますが、まだ残された問題も多いため、これからも引き続き国に適切な対応を求め、強力を要請していくとともに、資源増強対策を始め、漁業者の経営安定等に鋭意努めて参りたいと考えております。

また、昨年の三月には「漁協合併促進法」が施行され、十一月には、全漁連は、東京で水協法施行五十周年記念・第六回全国漁協大会を開催し、その中で、自立漁協の構築を目指した「漁協系統事業・組織改革の遂行」について特別決議したところであります。

漁業を取り巻く困難な状況を打開し、将来への明るい展望を切り拓いていくためには、基盤である漁協組織をしっかりと強固

なものにする必要があり、このためには計画に沿って漁協合併と漁協信用事業の統合を推進することが急がれています。

本県においては、本年は漁協系統が進めている「一県一信用事業統合体」の構築も仕上げの時期を迎えています。漁業者一人ひとりが合併や事業統合等の漁協基盤強化の必要性について更に認識を深め、漁業関係者が一体となってこれらの推進に取り組みで頂きますようお願い申し上げます。

さて、二十一世紀も目前に迫って参りましたが、本年の水産施策につきましては、新しい世紀の確かな展望をもって、本県水産業の振興発展のため、漁獲可能量(TAC)制度の定着とその下での資源の適切な管理、漁場の造成及び栽培漁業や養殖業の推進を中心とした資源管理型漁業を一層推進することにより、水産資源の維持増大と合理的な利用を進めるとともに、漁業経営体や漁協の経営基盤の強化、漁協合併等の推進、水産物の高付加価値化にも努めて、総合的かつ効率的な施策を積極的に推進して参ります。

わが国は、国際情勢の大きな変化の中で、これまでの経済社会のシステム全体について抜本的な変革が求められ、新しい方向に向けて動き始めていますが、その一方で、少子・高齢化の急速な進展、食料や環境問題など地球規模的に解決すべき数多くの課題も顕在化しています。

このような状況にあって、私たちが、この世紀の有り様に対する真摯な検証と反省

を踏まえ、次の世紀へ飛躍するための基盤づくりを積極的に取り組んでいかなければなりません。

水産業界では、新たな海洋秩序の下、大きな転換期を迎え、国においては水産業の位置付けの明確化を図りながら、国民的理解の下にわが国水産業のあるべき姿と基本的な施策・制度のあり方について鋭意検討が進められています。

本県においても新時代に即応した今後の水産業の在り方について議論を深め、水産業を発展させ、次世代に受け継いでいけるよう、力強い水産業と活力に満ちた漁村の形成を図っていく必要があります。皆様方とともに力を合わせてその実現を目指して参ります。さらなるご支援・ご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様方のご活躍とご健勝を心から祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

## 魚と人がにぎわう

### 漁港づくりをめざして



兵庫農林水産部  
漁港課長  
高崎 伸彦

漁業者の皆様、ご家族の皆様、新年おめでとうございます。

皆様方には、輝かしい一九九九年の新春

を健やかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年のスポーツ界は、大きな大会や大記録で賑わいました。日本選手が大活躍した長野冬季オリンピック、大きな感動を呼んだパラリンピックで幕が開き、年末のタイ・バンコクで開催されたアジア大会がトリを飾った一年でした。大きな記録としては、大リーガーのマグワイア選手が、七十本のホームラン世界新記録を樹立したことが記憶に新しいところです。それだけでなく、来日したライバルのソーサ選手が、不要になった震災被災者用仮設住宅を母国のジャマイカに贈るため、貝原知事と会見したことも大きな話題を呼びました。

水産業にとっても大きな出来事があった年でした。特に、一昨年の原油に続いて、今度はロシア船による材木漂着に見舞われた日本海の漁業にとっては、大きな節目の年であったように思います。昨年早々の日韓漁業協定破棄通告から一転して、今度は新漁業協定の締結と、めまぐるしく揺れ動いた一年でした。但馬の漁業者が、これまで長い間培ってきた資源と漁場が、国際関係の嵐の中で翻弄されてしまった感があります。

但馬では、このような状況を少しでも打開しようとして、都市住民とのふれあいの場づくりを目指し、「香住ルネッサンス計画」が着々と進められ、地域産物の展示販売施設や、公園・緑地、文化交流施設、アメニティ豊かな海水浴場等を基本プランに、海

と共生する町づくりが進んでいます。また、水産物の流通加工機能の強化を図るため、浜坂・諸宮間に漁港関連道を整備すべく、最適ルート、構造検討等の調査を開始しています。せり業務の一本化や、漁港施設の効率的な利用だけでなく、産業、観光、生活道路としての総合的な活用が期待されています。

瀬戸内海の水産業にとっては、昨年四月に開通した明石海峡大橋が、なんとと言っても大きなインパクトを与えました。淡路島を挟んで本州と四国が直接結ばれたことによって、香川県で水揚げされたカレイやメバル、徳島県でとれた朝どり野菜が、その日のうちに京阪神の市場に入ってきています。淡路島の各地でも、大勢の観光客で賑わい、直販施設など、水産業、農業、畜産を含めた様々な取り組みがなされています。今年はそれを定着させるだけでなく、より一層積極的な展開を図るための、大切な年でもあるといえます。

このような中、西淡町では、都市とのふれあい交流拠点をテーマに、「サンセット西淡ふれあいの町づくり」事業を展開しています。中でも丸山漁港では、直販施設のほか、漁業構造改善事業による漁業者センターも整備され、地域農林漁業の振興や、観光客と地域住民との交流の場として、大きな期待が寄せられています。阿那賀、伊弉漁港でも、それぞれの特色を生かした整備が進められています。

一方、家島町の坊勢漁協では、今年度内

に漁業集落排水施設が完成し、住民の長年の願いであった水洗トイレが各家に整備される予定です。また漁業構造改善事業によって、雨天でも網繕いができる作業施設の整備も計画され、漁村の生活環境、労働環境の整備が着々と進んでいます。

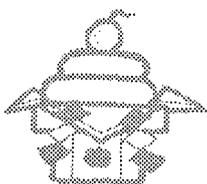
兵庫県では、二十一世紀を間近に控え、これからの漁港・漁村整備事業を、次のように進めたいと考えています。今後本県では、道路、鉄道、空港等、総合的な交通体系プロジェクトが進められていきます。その結果、地域間相互の連携が強まることによって、単に「産地直送」など流通の変化だけでなく、広く産業の交流、人の交流へと発展していくこととなります。

これからの漁港・漁村づくりは、単なる生産基地を目的とするのではなく、地域の産業基盤や地域社会の文化・交流基盤など、地域全体の発展を図る中核施設として整備していかなければなりません。そして、どんな漁港・漁村を目指していくのか、きちんとした目標を持って事業展開をはかる必要があると思います。言い換えれば、水産資源の保護育成や、漁協合併、市場統合といった具体的な水産施策を実現するために、漁港施設の整備を、積極的な支援手段のひとつとして考えていくことも必要ではないでしょうか。

また、やがて訪れる高齢化社会に備えて、高齢者や障害者が安心して働いたり、訪れたりできるような漁港・漁村づくりも、今後取り組まなければならない大切な課題だ

と思います。そんな動きは、すでに本県の中でも見え始めています。たとえば、つくり育てる漁業を支援するため、自然環境に恵まれた浜坂町の三尾漁港を、マガイ稚魚の育成場所として活用しています。環境や生物に優しい「自然活用型漁港づくり」の貴重なヒントになると考えています。西淡町の丸山漁港では、天然魚の稚魚が生育できるように、魚礁機能を備えた「自然調和型防波堤」の整備を計画しています。また、同じ西淡町の阿那賀漁港では、潮の干満が大きい既設物揚場の前面にポンツーンを浮かべ、高齢者でも安全に働けるよう配慮しています。

二十一世紀に向かう希望に満ちた新年を迎え、県としては、これらの事例をふまえながら、漁港・漁村事業を、これまで以上に効率的かつ拠点的に推進していきます。そして、漁港・漁村が地域全体の発展を図る基盤としての機能を発揮できるよう、努めていきたいと考えています。そのために必要な工夫や提言など、皆様方の率直なご意見を願ひしながら、漁港・漁村の新たな飛躍と明るい未来に期待するとともに、今年の大漁と操業安全、ご家族の皆様のご健康とご多幸を祈念し、新年の挨拶いたします。



# 新春を迎えて



兵庫県立  
水産試験場場長  
丹下 勝義

明けましておめでとうございます。平成十一年の年頭に当たり謹んで新年のお慶びを申し上げます。日頃より試験研究の遂行、推進に對しまして温かいご支援とご協力を頂き、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、栽培漁業関係では、種苗生産はいずれも目標数を上回る順調な成績を上げることが出来ました。また、中間育成もお陰をもちまして概ね良好な成績にて終了し、放流することが出来ました。ただ、但馬におけるヒラメ種苗生産過程の一部に貧血症らしき症状がみられ、今後の検討課題として問題が残されました。また、クルマエビの中間育成でもウィルス性疾病が一部の施設で見つかり廃棄せざるを得なかったことは残念でした。確実な防疫対策技術の確立が急がれており、関係機関と協力し対応を進めているところです。

一方、昨年に引き続き行われた大型クルマエビ種苗による共同放流事業は、各方面から多くの皆さんの協力により尾扇肢カットによる標識が施され、赤穂地先から放流されました。放流地近くの適地に移動拡散することが裏付けられています。中には遠く大阪湾や紀伊水道方面へ回遊し生活圏

を拡大する個体も見られました。引き続き成長と移動を追跡中ですが、より効果的な放流技術の開発に努めていきたいと思っています。

養殖漁業関係では、病害の予防指導と早期発見体制で臨んでいるところですが、特に大きな病害もなく推移しました。また、心配されていたノリの色落ち現象も海況の好転が幸いして出現を見ず乗り切りました。今後ともこの対策については、現象把握と原因究明に努め、適切な情報提供を行って行く所存であります。それからカキ養殖場のあちこちで外来種のミドリイガイの大量増殖が見られました。この発生要因は明らかではありませんが、本来低水温に弱い種類ですので春までに消失するものと思われまます。しかし、生態について不明な点が多く追跡調査を実施しているところでありま

す。資源関係では、漁獲量の減少が続いて厳しい状況にあります。シラス漁は、全国上位にあるとはいえ依然として不漁が続いています。このような中においてイカナゴでは、資源管理の徹底が図られるようになり、効果が見え始めてきました。他にマダコ、ハリイカ、ガザミ、クルマエビなども豊漁であったのが特筆されます。

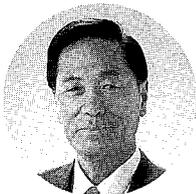
漁場環境関係では、夏の高温、少雨の影響でいつものない高水温、低栄養塩の環境になりました。このため赤潮発生がほとんどなく「赤潮対策本部」を設置しない特異な年でもありました。一方この時期オヨギ

ピンノ（小型のカニ）の赤潮様発生が広い範囲で見られたのも珍現象でした。やがて台風の来襲などで降雨と攪拌で栄養塩は戻りましたが依然水温の高い状態が続いています。

内水面関係では、アマゴ、ニジマス、ヤマメなどの養殖指導の傍らアマイワ、ニジイワといった耐病性品種の作出とその養殖試験を行っています。また、チョウザメについては、養殖業者による事業化への取り組みが始まり、新たなふるさと産品として期待されます。河川漁業の重要魚種であるアユが、近年各地で冷水病の危機にさらされております。河川放流前に保菌検査を逐次実施し、アユの健全化に努めてきました。本年も皆様方のご要望にお応えすべく職員一同技術開発や調査研究を進めて参ります。

最後になりましたが、皆様方のご健康とご多幸をご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

## 平成十一年 年頭のご挨拶



全国漁業協同組合連合会  
代表理事会長  
植村 正治

新年あけましておめでとうございます。平成十一年の年頭に当たり、全国の漁業

者並びに漁業系統の皆様謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

今日、我が国の社会・経済・金融構造が国際化の進展により大きく変化化する中で、我が国漁業・漁村は大変大きな転換期に直面しております。

私は昨年五月、全漁連通常総会において会長に就任いたしました。以来、「漁協運動の原点は浜にある」ことを心に銘記し、二十一世紀に向けて漁業・漁村の発展を期し、漁協系統の先頭に立ち運動を進めて参りました。

日韓新漁業協定の締結に向けて、あるいは輸入水産物対策、漁業経営対策、漁村の振興対策等々大きな課題が山積みする中で、皆様方とともに漁業者の声が政治・行政に的確に認識・反映されるよう運動を展開いたしました。

さて、去る十一月二十七日に第六回全国漁協大会を開催し、「食料、環境、日本の漁業を次代へ！」をスローガンとする新たな運動方針を決定いたしました。また、この二月は水協法が施行五十周年という節目の年でもあります。

本会の新たな運動方針の実施の開始年に当たり、次の事項を重点として、運動を展開して参ります。

まず、第一は「漁業基本法」の制定を求める取り組みであります。

漁業・漁村が水産食料の供給、地域活性化、環境保、全等時代の求める社会的な役割を果たしていくためには、情勢変化に対応した

漁業政策の抜本的見直しが必要であります。「魚の絶えない海」を目指し、「つくり

育てる漁業」の推進、「資源の維持管理」に徹する意識改革等を通じて、国民食料としての自給力を高めるとともに、高齢者や女性等の労働力の活用を促進し、若者の人材を育成し、魅力あふれる、誇りと自信に満ちた漁業・漁村の創造に向かう時、「漁業基本法」はその礎となり、物心両面の効果を発揮するものと考えるのであります。

政府・国会において、漁業・漁村の位置づけを明確にし、振興の基本方向を示す「漁業基本法」を早急に制定し、これに沿った政策の確立が図られるよう運動を進めます。

第二は、系統事業・組織の改革による漁業協同組合運動の充実であります。

漁業・漁村の活性化の担い手として、魚価・流通対策、海洋環境保全等、漁協組織が取り組むべき課題は数多くあります。

内外から期待される「漁協人」として、その役割を果たすべく、漁協系統が組合員の先頭に立ち、合併をはじめとする事業・組織の改革の不退転の決意で一層強化することが緊急の課題であります。この取り組みも、漁協大会の特別決議として採択いたしました。

また、金融ビッグバンの進展の中で、漁協系統信用事業が「浜の協同組合金融機関」として、一層の経営健全化と信頼性の向上に努める必要があります。漁協大会で特別決議された「全国漁協系統貯金三兆円」の二年目でありますので、組合員と地域との

結びつきの一層強化を図りつつこの運動を進めて参ります。

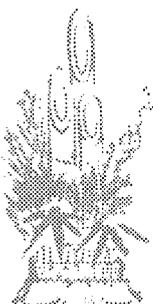
さらに、日韓水域の資源管理・取締体制の確立については、当面する重要政策課題であると位置づけ、漁業者の声を反映するよう引き続き政府に対して、粘り強く働きかけて参ります。また、水産物貿易問題については、いたずらに自由化に志向することなく、漁業資源や漁場環境保全との整合を図り、食料自給力向上の観点も踏まえ、秩序ある国際貿易ルールを確立するよう運動を展開して参らなければなりません。

「二十一世紀は漁村の時代」であります。漁村地域は自然に恵まれ、伝統文化を有し、健康で豊かな暮らしができる重要な地域であります。地域の共同体が持っている温かい信頼関係、人間関係が協同組合精神の基であります。

現代は、羅針盤のない航海時代ともいわれますが、国民の理解と支持を得ながら、漁協系統組織の力を結集し、二十一世紀・新時代の幕開けと協同の力で切り拓いていくにはありませんか。

本年も引き続き、全国各地でご活躍の皆様とともに、力強く着実に歩んで参りたいと存じます。

皆様方の一層のご繁栄とご健勝をお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。



## 浜の暮らしに

## 浜の共済



全国共済水産業協同  
組合連合会  
代表理事会長  
鈴木甚左工門

全国の漁村の皆様、明けましておめでとうございます。

厳しい漁業環境がつづくさなか、私たち漁協系統組織は、二十一世紀を目前にする新たな「運動方針」のもと、これからの時代にふさわしい漁業・漁村づくりを目指し、この一年をその貴重な一歩にしなければと考えます。

そのなかで、「漁協の共済」は、浜に生きる組合員・地域住民の暮らしの保障に万全を期すため、漁協が取り組むべき任務の一つであります。そして、そのために策定した「暮らしをまもり組合事業の柱をめざす漁協の共済三カ年計画」も、いま、いよいよ最終年度の総仕上げの段階を迎えております。

この「漁協の共済」の取り組みにあたっては、主役はもとより、各浜における漁協活動にあります。同時に、推進中核体である各都道府県「漁協の共済」推進本部を軸に、共水連本所・事務所が一体となり、その援護役をつとめ、所期の事業量目標の達成を期さねばと存じます。

さらに、その成果を跳躍台として、引き

続き「保障の充実」「普及拡大」「組合事業の柱」をめざし、漁協の皆様とともに、新たな中期計画の策定を図りたいと存じます。

浜の暮らしに「浜の共済」——を合言葉として、全国の漁村の皆様のご理解を得て、今年も力強く前進して参りたいと存じます。

## 年頭のご挨拶



兵庫県信用漁業協同  
組合連合会  
代表理事会長  
木下 清

明けましておめでとうございます。皆様にはご健勝にて新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返ると、世界各地での自然災害の悲惨な報道や、北朝鮮のミサイル問題・毒入りカレー事件など人権を無視したような出来事、汚職問題等々、新聞・テレビで報道されるニュースは暗く悲しく思いもかけぬことばかりであります。明石海峡大橋の開通など二十一世紀へ向かっての明るい話題もあったことを忘れてはならないと思えます。

国内の景気については、一昨年下半年以降下降を続け、下げ止まりが見られない状況で、政府も公共投資の前倒しや特別減税など財政緊縮一辺倒から景気重視への軌道修正を行いました。個人消費は依然低迷し、設備投資にあっても当面低下が続く見込み

であり景気浮揚が見られない状況であります。

金融界にあっては、金融機関の相次ぐ経営破綻・不良債権処理問題など金融システムの安定がなければ経済の安定がありえないとして、政府は金融機能安定化法を施行し公的資金の投入がなされました。大手金融機関にあっては、合併・業務提携など金融ビッグバンの中で生き残りをかけて競争しているのが現状であると思えます。

本会は、このような状況下において漁協系統金融機関として組織の強化・機能の向上を目指して「漁協信用部と信漁連の統一」一県一信一構想完成に向けて、計画どおり統合を押し進め、一昨年十月のモデル店舗の統合から昨年十二月末までに、十八漁協の統合を完了してまいりました。また、念願であったMICS（CDネット中継センター管理機構）への加盟を実現し、都銀・地銀など七業態とCD・ATMを相互利用する業態間CDネット提携を開始することとなり、より一層機能の向上を図ることが出来ました。本年も信用事業統合を始めとし、漁協系統信用事業の推進に努めて参る所存でありますので、会員各位を始め系統諸団体の皆様におかれましては、ますますのご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

さて、新春を迎え、景気の先行きは不透明のままであり、金融機関の不良債権問題などの影響を受けることが懸念されるとともに、金融政策にあっては金融緩和と超低

金利が当分続くものと思われ、経営の健全性確保のための早期是正措置に伴う資産の自己査定強化など、漁協が信用事業を営んでいくうえで諸条件はますます厳しく、競争激化も予想されます。

本会の「一県一信用事業統合体」の構築はスケジューリングにも正念場を迎える年であり、より一層の努力を重ねる所存であります。統合店舗、漁協店舗に係わらず「浜いっばいの笑顔」を合言葉にフォローアップアクション運動を強力に展開し、組合員との結びつき強化を基軸に、本県漁協系統信用事業の基盤強化と顧客へのサービス向上に努めて参る所存でありますので、今後とも一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、私たちの信用事業は漁業・漁村の皆様の振興と生活向上を目指すものであり、その基盤は皆様の漁業生産に支えられております。本年は旧年に倍して、初春の昇日のごとく豊漁でありますことを祈念申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

## 年頭のご挨拶



兵庫県漁業共済組合  
組合長理事  
吉岡 修一

新年あけましておめでとうございます。平成十一年の年頭に当たり謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

漁業と漁村を取り巻く環境が大きく変化の中で、資源の減少や魚価安等漁業経営は極めて厳しい状況となっております。

加えて昨年日韓漁業協定の改定交渉において基本合意がなされましたが、島根県の沖合及び大和堆の半分近くが暫定水域に入り、また資源の共同管理の実効性や取り締まり体制の在り方も不透明である等日本側漁民の納得できる内容ではなく、但馬地区漁業の経営をさらに圧迫することが想定されます。

基本合意に伴う漁業への影響を考慮し、漁業振興対策として創設される漁業振興基金の実施する事業の中に、「漁獲共済にかかる漁業者負担軽減」が検討される等「ぎよさい」が有する漁業経営安定システムの必要性がまさに示された訳で、漁業共済事業を実施する者として身の引き締まる思いであります。

こうした折、昨年十一月に開催された第六回全国漁協大会では、向こう三ヶ年の新しい漁協系統の運動方針が満場一致で採択

され、その実践活動に取り組むこととなりました。

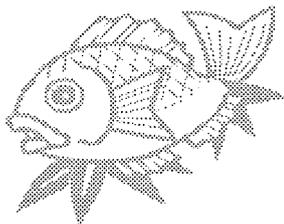
漁業経営安定対策の柱として「ぎよさい」もその重要な実践推進策の一つとして取り組まれることとなりましたことは、「ぎよさい」の役割の重要性を改めて痛感する次第であります。

また、これらの諸情勢に伴い二十一世紀に向けて漁協系統事業・組織の改革も検討されつつある中、系統組織としての「ぎよさい」制度の在り方が問われており、新世紀の初頭を念頭に中長期的観点で、第一点・将来像を見据えた制度改善、第二点・事業の在り方と目標、第三点・簡素で効率的な事業組織の方向等を構成する基本構想を鋭意検討中であります。

一方、「協同の輪をひろげ経営安定に万全を期そう」をスローガンに実施されてきた「パワーアップぎよさい」三ヶ年運動の成果をふまえて、引き続き平成十一年度よりぎよさいの全加入と補償力のアップを運動目標として「パワーアップぎよさい21」三ヶ年運動を実施することといたしております。

漁業経営安定対策の柱としてより一層寄与できますよう国・県・各系統団体のご支援を仰ぎながらこの一年普及拡大への取り組みをさらに強化し、新時代の漁村づくり「ぎよさい」がますます貢献できますよう力強く前進して参りたいと存じます。

最後になりましたが、水産業の更なる発展と皆様方のご健勝ご活躍を心より祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。



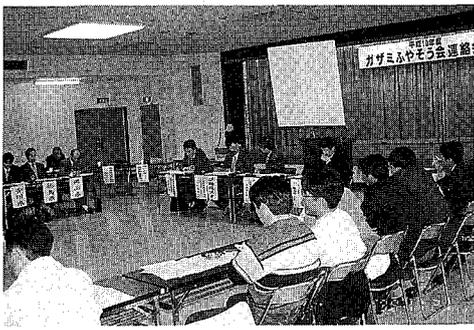
## 平成十年度 ガザミふやそう会連絡会議 を開催！

「ガザミふやそう会」

去る平成十年十一月二十一日（土）、姫路市・播磨漁友会館において岡山県、徳島県、香川県、愛媛県、兵庫県の各地より約四十名の参加のもと、「平成十年度ガザミふやそう会連絡会議」が開催されました。

この連絡会議は、ガザミふやそう会が中心となり、瀬戸内海地域などにおいて、ガザミの資源増殖・管理活動に取り組む漁業者同士の連携を深めることを目的として、平成五年度から開催されているもので、今年度で六回目を数えます。

当日は、まず開会にあたり、兵庫県・ガザミふやそう会の星尾会長からの主催者挨拶の後、水産庁瀬戸内海漁業調整事務所の中田資源保護管理指導官ならびに兵庫県漁業協同組合連合会の壽専務理事より来賓を代表して挨拶が述べられました。



続いて、社団法人・日本栽培漁業協会の水田技術部長を座長に意見交換会に移りました。この意見交換会の中

で、話題提供として、社団法人・日本栽培漁業協会の小畑技術員より「ミトコンドリアDNAを用いた放流効果について」と題して、ノゴリガザミの放流効果調査の事例について、講話を頂きました。ガザミなどの甲殻類は、成長に伴い脱皮をするため、放流効果調査などのために、他の魚類のようにタグなどの標識を装着することは難しく、このことが、甲殻類の放流効果測定が難しいといわれる原因の一つですが、種苗生産に用いる親ガザミのミトコンドリアDNAを調べ、そのうちの或る遺伝子の型を用いることによって、放流個体の特定をし、放流効果測定をするという事例紹介があり、各参加者とも興味深く聞き入っていました。

話題提供終了後、各府県におけるガザミ資源増殖・管理活動の現状と今後の取り組みについて、参加者より意見交換がなされました。この中で、特に多くの団体が抱えている問題として、ガザミの中間育成における歩留まりの向上策を中心とした活発な議論が行われました。最後になりましたが、この会議を通じて、瀬戸内海沿岸域の関係者が一丸となった取り組みの中で、問題点や課題を一つずつでも解決して行き、ガザミがたくさん水揚げされてきた資源豊かな昔のような海が蘇ることを祈念してやみません。

## 第六回全国漁協大会が開催される！

— 全漁連 —

去る十一月二十七日、東京・日比谷公会堂において「水協法施行五十周年記念・第六回全国漁協大会」が全漁連の主催により開催された。一九九九年～二〇〇一年度の漁協の運動方針として「食料・環境・日本の漁業を次代へ」



をメインスローガンに掲げ、二十一世紀に向け漁業・漁村と漁協の抱える大きな課題を考えようと、全国の漁協から約二十名の関係者が集い（本県から四十四名の漁協長等が参加）解決すべき多くの問題を提起、系統組織を挙げた運動としての取り組み方が決定された。

- 一、国民生活に寄与する活気あふれる漁業・漁村づくり
- （1）漁業基本法の早期制定のための取り組み
- （2）希望に満ちた漁業と生き生きした地域づくり
- 二、二十一世紀を切り拓く漁協系統事業・組織改革の遂行
- （1）自立漁協の構築に向けた合併・事業統合の実践
- （2）組合員と地域に密着する系統の事業づくり
- （3）これからの経営・運営体制づくり

を決定し方向づけがなされ、これに基づき「漁業基本法の早期制定」「漁業系統事業・組織改革の遂行」「漁協系統貯金三兆円運動」の三つの特別決議が採択された。

このあと大会は、「緊急全国漁民大会」に切り替えられ「日韓水域の資源管理の確立」「水産物輸入の自由化拡大断固反対」を緊急決議した。大会の終了後に、植村全漁連会長を先

## 訂正とおわび

12月号の「TOPICS」吉岡修一氏に漁協運動功労賞のの記事中に一部記載漏れがありましたので訂正し、お詫びいたします。「略歴」のうち、現職として以下を追加いたします。ご迷惑をおかけしました。

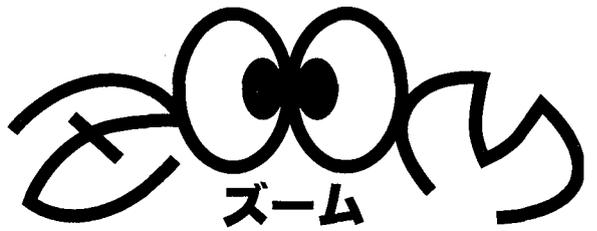
平成4年6月～現在 兵庫県漁業共済組合組合長理事

また、4頁下の写真説明を以下のとおり訂正します。

摂播地区「水産物の流通対策と漁協販売事業」の講演(誤)  
摂播地区「漁協理事・監事の職務と権限、義務と責任」の講演(正)

ご迷惑をおかけしました。

緊急全国漁民大会における決議文  
△日韓水域の資源管理の確立に  
関する緊急決議▽  
我が国排他的経済水域での韓国漁船に対する規制と取締を徹底するとともに、暫定水域における実効の上がる資源管理措置と漁業秩序の確立を図ること。  
また、新たな海洋秩序の下での我が国漁業の振興を図るため、漁業経営の安定・資源・漁場機能の回復等に必要な諸対策を継続的に講ずること。  
△水産物輸入の自由化拡大に  
反対する緊急決議▽  
我々は、我が国漁業・漁村の荒廃や、世界的な資源枯渇・環境破壊に繋がる無秩序な水産物の貿易自由化拡大に断固反対するものであり、政府は水産物輸入について現在以上の自由化が促進されないように対処すること。



# 魚食普及で頑張ってくださいね!

— 県漁連 —

兵庫県漁連では、今年度も兵庫県いずみ会（日頃より食生活問題や健康問題に取り組み、自分達が勉強したことを地域の住民に伝えていく団体）の会員三百四十三名を対象に十月から十二月にかけて、県下十二ヶ所において「県漁連のお魚料理教室」を行いました。（図1参照）

県下六十六漁業協同組合の代表である県漁連が行う料理教室ということで、一般の料理教室とは一味違う次の三つの特徴を出しました。まず

第一に、兵庫県の水産業を理解していただくために、ビデオ『ひょうごの漁業』（兵庫県漁連製作）を放映し、その後、家庭排水の問題やゴミ処理の問題について、参加者に協力依頼を呼びかけること。第二に、最近家庭で魚をおろすことが少なくなってきたが、新鮮さにおいても、価格においても切り身より優れている一匹の魚入さばVを参加者一人一人におろしてもらったこと。第三に今注目を浴びている魚

図1 平成10年度料理教室一覧表

月/日	会場	参加人数
10/14 (水)	姫路市中央保健所	38名
10/15 (木)	三田市広野市民センター	19名
11/6 (金)	芦屋保健所	30名
11/13 (木)	J A やぶぐん本店	31名
11/18 (水)	社保健所	35名
11/19 (木)	上郡町中央公民館	25名
11/20 (金)	佐用町保健センター	34名
11/25 (水)	三木市緑が丘町公民館	26名
11/26 (木)	明石保健所	20名
11/27 (金)	淡路町保健センター	24名
12/4 (金)	西宮保健所	29名
12/8 (火)	福崎町生活科学センター	32名
	(計)	343名

の栄養と効能についてお話しすることでした。この企画は好評で、参加者からは「お魚のおろし方を丁寧にわかりやすく教えていただき、我流でおろしていた時よりも簡単に上手におろすことができました。これからは、魚一匹を買って家でおろします。」「青い背の魚を食べることによってコレステロール値を下げた講師の体験談を聞き、我が家でも極力、魚料理を食卓に出したい。」「はじめて食べるさばどんぶりが臭くなく非常においしかった。」等のうれしい声を頂戴しました。



包丁さばきも鮮やかになって...

## さばどんぶり

材 料(4人分)			
さば	2尾	みりん	少々
水	200cc	玉ねぎ	半個
濃口しょう油	40cc	人参	40g
酒	20cc	卵	2個
砂糖	15g	青ねぎ	適宜
土生姜(千切り)	20g	焼きのり	適宜

### 作 り 方

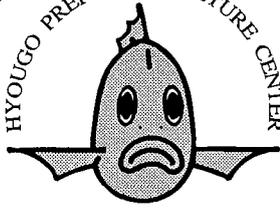
- ①さばは三枚おろしにする。腹骨は削ぎ切りにし、皮を引き、中骨を切り、刺身の状態にする。
- ②浅めの鍋にAを全て入れ、煮立たせ、その中に①のさばを少しずつ入れていき、最後にスライスした玉ねぎと千切りにした人参を入れ、ふたをして中火で煮る。
- ③表面の魚の色が変わったら、みりんを少々ふりかけ、少し煮て照りをつけ、最後にとき卵と斜めに切った青ねぎを入れ蒸らす。
- ④どんぶりにごはんをよそい、その上に③を4等分にしてお玉で入れ上のにりをふりかける。

## 簡単しめさば

材 料			
さば	2尾	※三杯酢の割合	
酢	少々(酢洗い用)	酢	カップ1
塩	適宜	砂糖	大さじ4
昆布	5cm四方を2枚	塩	小さじ1
		薄口しょう油	小さじ1

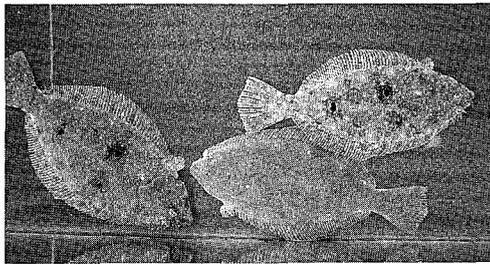
### 作 り 方

- ①さばは三枚おろしにし、腹骨を削ぎ切りにし、中骨を切る。
- ②切った魚は、バットに並べ上から、多めに塩をふりかけて、1時間おいておく。その際バットは斜めに傾けておくこと。
- ③②のさばを酢洗いし、密閉できるビニール袋に昆布とさばを入れ、次にさばがかわる程度に三杯酢をいれ、約2時間つけておく。
- ④さばは、キッチンペーパーでよく酢をふきとって、皮をむき、刺身に切る。

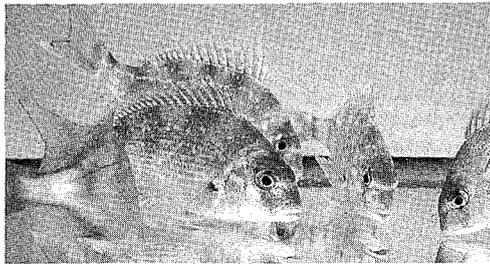


# 栽培漁業センターです

# 124



平成9年生まれのヒラメ稚魚（全長：約20cm）



平成10年生まれのマダイ稚魚（全長：約15cm）

新年あけましておめでとございませう。今冬は冬らしい冬になると言われているためか、いつも以上に寒さを感じているのは私だけでしょうか。

さて、今回は兵庫県栽培漁業センターで取り組んでおります、天然親魚の導入についてお話しします。親魚は種苗生産を行うにあたり必要不可欠なものです、その親魚に求められるものはここ近年非常に多くなってきております。今から数十年前、つまり種苗生産が始まった頃は、

受精卵が採ればそれでよかったのかもしれませんし、生まれた稚魚を大きくして再び親魚として利用することもさほど問題視されませんでした。実際このような状況の中で種苗生産は大きく発展し、今日に至っているとも言えます。しかし最近の種苗生産に用いる親魚には、受精卵の確保は勿論のこと、多くの天然の遺伝子を後世へ残す事が求められています。このような背景もあり、当センターでは天然親魚の導入を積極的に進めています。

とは言いましても天然親魚の導入にはいろいろ難しい点があります。ひとつには天然成魚はなかなか餌を食べないため、どうしても餌づけの容易な〇〜一才の幼魚から育てる必要があります。親魚として使えるまでには三〜四年飼育する必要があります。また、天然魚と遺伝的に異なる種苗を放流するために天然親魚の導入を行うのですが、同じヒ

ラメやマダイでも群によって少しずつ遺伝子に違いがあるため、どこの海域の魚を親魚として用いるかが重要となるのです。このように稚魚を見ただけでは分からないような所にも気を付けながら種苗生産に取り組んでいる事をご理解いただければと思います。

ところで各事業場の様子ですが、兵庫県栽培漁業センターではアサリ・アカウニ・アワビ類・メイタガレイの試験生産を、また、年明け早々から始まるマコガレイ種苗生産に向けて天然親魚の購入などの準備を行っています。但馬栽培漁業センターでは十二月六日よりヒラメ早期採卵のため電照処理が始まり、貝類ではアワビが採卵と採苗を、サザエについては殻高五〜九ミリの稚貝四十五万個のカゴ飼育を行っています。淡路の津名事業場ではアサリとアカウニの試験生産を継続している一方で植物プランクトンの濃縮試験も行っております。

今年も何かと協力頂くことがあるかと思いますが、どうぞ宜しくお願いします。

（兵裁協 森田 純人）

女性 83.82歳

男性 77.19歳

平均寿命です！

男女とも世界最長寿を更新中！  
（1997年簡易生命表による）

漁業者年金に加入しましょう！



- ☆ 長寿社会に余裕をもって生活するために！
- ☆ 老後の安心を確保するために！  
ぜひ、ご加入ください。
- ☆ 既に参加の方も、より良い暮らしのために増額を！

手続き・ご相談は各漁協へ 老齡福祉共済推進兵庫県協議会  
（事務局・兵庫県漁連 指導課）  
TEL・078-652-3444

漁業者年金はあなたのための個人年金です。



## 「魚礁」について

あけましておめでとうございます。間近に迫った二十一世紀に向けて、食料供給産業として水産業が担う役割はますます重要になっています。県でも資源管理型漁業の推進を図っていますが、その方法の一つに魚礁設置による漁場の整備開発が挙げられます。

魚を集めて効率的に漁獲する為に海中に設置する構造物を「魚礁」といいます。約二百年前の文化年間に、淡路の五色町で沈船に魚

が集まっていることに目を付けた新蔵という漁師が、木枠に竹や土俵等を付けて沈め、数ヶ月後に多くの魚を獲って大儲けしたのが人工魚礁の始まりと言われています。戦後は廃船に石を詰めた沈船をはじめ、貨車やタイヤ等、各地で様々な物が魚礁として設置されてきました。現在は主にコンクリートや鉄製の魚礁が用いられています。

魚礁を設置すると、魚は視覚的(姿や陰影)、触角的(水流の変化)、聴覚的(水流が魚礁に当たる音)に魚礁の存在を認識し、「おや、何だろう」という感じで魚礁に集まってきます。やがて魚はそこが居心地のいい場所であることに気づきます。なぜなら魚礁は天敵や潮流から身を隠す場所になると同時に、周辺の渦流域や魚礁表面が動物プランクトンや付着生物を増殖させる為、優れた餌場にもなるからです。魚礁に小魚が集まるとそれを食べる大型の魚が集まり、魚礁は優れた漁場とな

ります。特にカサゴ、メバル、カレイ、カワハギ、マダイ、アジ、スズキ、ブリ等が多く集まる魚として知られています。

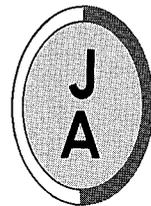
ところが魚礁も設置場所や構造物を誤れば効果が薄く、操業の邪魔になってしまうだけの場合もあります。人工魚礁の設置は主に県や市町が「沿岸漁場整備開発事業」という公共事業により実施しています。この事業では魚礁設置の他、増養殖場造成や漁場保全等を行っていますが、国全体の事業費は年間約三百億円、兵庫県下では約十億円となっています。誰が見ても半端な額ではありません。これだけの大金を注ぎ込んでいる以上、効果のある漁場を造っていかねばなりません。

現在、県ではこれまでに設置した魚礁の再調査等を行い、より効果の高い漁場づくりを目指し、さらなる水産業の発展のために今年もがんばっていききたいと思います。

(姫路農林水産事務所 大石)



## 兵庫JCC通信 今、JA・生協では



### 兵庫経済連が「キャッチくん杯争奪新人戦・少年ソフトボール大会」を開催

兵庫経済連では十一月十五日(日)、加古川河原グラウンドで、「キャッチくん杯争奪新人戦・少年ソフトボール大会」を行いました。この大会は「JAのクミアイプロパンは、地域の人と一緒に子供のスポート活動を応援します」をキャッチフレーズに、クミアイプロパンのシェア率の高い加印地区を対象に行いました。

当日はお天気にも恵まれ、加古川名物の「ソーデーマーチ」とも重なり、河川敷を行き交う人も多く、絶好の大会日和となりました。

参加は小学一〜五年で編成した二十二チームで、選手三百五十人、観客三百人という思いのほか大きい規模の大会になりました。

新人戦ということで、プレー自体はどこか危なっかしいものでしたが、一生懸命のプレーと礼儀の良さには感心させられました。

試合の結果は、優勝が南粟津チームで、準優



勝が上富木チームでした。

「キャッチくん杯」は、子供たちや監督、父兄にも大変好評のうちに閉幕し、当初の目的であるクミアイプロパンの知名度を上げることができました。

来年度はできることならば対象地域を広げ、地域に根づいた大会になるようにしたいと思います。

### 多様な担い手の育成へ JA農業生産法人育成対策セミナーを開催

JA兵庫中央会は十一月十三日、農業会館で「地域農業を維持するための多様な担い手の育成」をテーマにJA農業生産法人育成対策セミナーを開催し、十四JA等が参加しました。

このセミナーではまず、中央会から「本県におけるJA出資による農業生産法人育成への取り組み方針」を説明。

本県は全国的にみてもJA出資による農業法人が多く設立されている県で、地域農業を維持するための担い手対策は、集落営農を第一として位置づけ、第二に地域内の大規模の中核農家、そしてどうしても担い手が確保出来ない場合に、JA出資による農業生産法人により、農地の保全に取り組み方針で、最近注目されている定年帰農者の組織化についても検討を始めたことを報告しました。

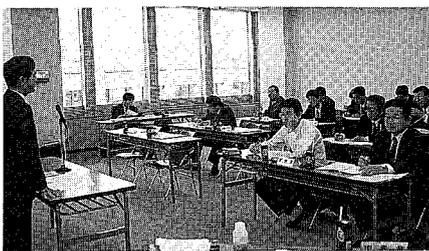
次にJA全中農業基本政策対策室長・藤井良晴氏が食料・農業・農村基本問題調査会の答申内容(特に株式会社社の農地取得問題)を踏まえて「多様な担い手の一つとして農業生産法人の育成・運営」と題して講演を行い、JAグループ全体として担い手対策にどのように取り組むかを中心に説明しました。

また、県内と県外の二つの実践事例報告を行

い、県内事例では、佐用郡管内を事業エリアとするJAさよう出資による(株)グリーンさようの活動と運営について代表取締役社長・島津明氏が報告しました。

県外事例は「(株)アグリランド松本の活動ならびに運営について」と題して、会社への出資者である長野県・JA松本ハイランド農業企画課長・高山拓郎氏が、今後いかにして地域農業の中にアグリランド松本を組み込むか、また、地域内にある組織・労働力を活用するかが、特に重要であると報告しました。

参加者からの質問もたくさんあり、関心の高さがうかがわれました。



島津明氏による講演

# 正月でいろいろ考える

◆「門松は冥土の旅の一里塚…」などとい

う。満年齢制になる以前は、元旦になれば一つ年をとり寿命が一つ減ったのと同じことだった。それでも正月を迎えるのを待ち望んでいた。キリスト教徒でもないがクリスマスを祝い、大みそかに除夜の鐘を聞いて仏教に触れ、正月を迎えては神前に祈るのである。宗教的には許容範囲が広いのが我らの特徴だ。しかし、促成野菜や冷凍食品で旬の食べ時を無視し、冷暖房で季節感も希薄になってしまった現代なのに、正月は郷里で過ごすそうと民族大移動が起きる

の不思議でもある。

◆年末の慌ただしい暮らしを、忘れたように元旦を迎える。「一年の計は元旦にある」というから、気分の良いところで新しい年のプランを考えたい。今年をどう暮らすか、年来の夢を実現させるべきか。この不景気は解消されるのだろうか。真新しい暦を捲りながら、今年はどう展開があるのだろうかと気になるが、少しは期待に胸が弾んでも来る。幼い頃の正月の記憶が断片的に思い出される。親に貰ったお年玉がポケットに入っている。家族が顔をそろえて雑煮

を食べる。おせちの数の子と鯖の煮こごりを小皿に取って「俺の好物」と喜んでい

まったく見られなくなっている。飾りをした家は少なくなり、町に人影が無く風揚げや羽根をつく姿も見られない。神社へもクルマで行って、サッサと帰ってしまう慌ただしいものである。社会全体がスピード化され、すっかりクルマに支配されており生活にのんびりした所が無くなった。それが近代風な文化的な暮らし方だと満足しているようでもあるが、少し寂しい感じがしてならない。おせち・雑煮・お供え・門松・飾り・初詣で…。そんな風俗が廃れて行くのも時代の推移だと諦めるしかないのか。

◆さらに思い出は年末の餅搗きに繋がる。隣保の五軒ほどが集まって半日をかけて餅を拵えた。籠(くど)に薪を燃やして糯米を蒸し、力自慢が交代で搗きあげた。女性は半畳ほどの作業板に餅とり粉を広げて次々と丸めた。子供らはそれを手伝い、餡の入った搗きたてを貰って食べたが、実に美味しかったのを覚えている。又、のし餅を鮑(かんな)で削ってカキ餅にしたり、サイコロ状に切ってアラレを作った。生活の中に手作りの品が多く、長閑な時代だったのである。石臼も杵(きね)も過去のものになり、籠も壊され隣保づきあいも、今は無いに等しいと聞いた。

◆現代には現代らしい正月の過ごし方があるようだ。ファッション風に神様詣でをし、喫茶バーで乾杯してパチンコで連だめしをやる。クルマで遠出をしたり、海外で新年を迎えるのも面白い。温泉に入り、美味な料理に舌鼓を打つのもゴージャスな迎春法ではあるまいか。古いものに拘らず、自分らしく演出すれば良いのであろう。遊方子

◆去年の無事を感謝し新年に期待するのは嬉しいものであるが、この数年の正月風俗のサマ変わり

はひどく、昔の情緒は

昔の情緒は

「七福神めぐり」を考えている。ともかくも正月である。心を引き締め気持ちを新たにし、イザ発進しようではないかと自分に言い聞かせる。(遊方子)

## マリンバイオテクノロジー

### 第5話

#### 《細胞融合によるノリの品種改良-2》

前回に引き続き、細胞融合による品種改良の方法についてお話しします。

細胞融合によりノリの品種改良を行うには以下のような過程を必要とします。

- ① プロトプラストの単離：ノリ細胞は、細胞壁で周囲を厚く巻いており、しかも隣り合った細胞同士が相互に強く結合しているため、そのままでは細胞融合は困難です。そこである酵素を使用して、この細胞壁を取り除き、プロトプラストが単離されます。つまり隣り合った細胞同士をバラバラにするわけです。
- ② プロトプラストの融合：プロトプラストの融合は、大きく分けて二つの方法があります。一つは融合促進剤を用いる方法、もう一つは電氣的刺激によって融合させる方法です。
- ③ 融合細胞の選抜・再生：融合したあとには、異なる性質を持った二種類のノリの細胞が融合した細胞を選抜しなければなりません。また、プロトプラストとは細胞壁を取り除いた細胞ですから、このままではノリにはなりません。細胞壁を再生し、細胞分裂を行いノリになるまで再生する必要があります。

以上のような方法によって、細胞融合によるノリの品種改良の基本的な技術は、ほぼ確立されました。実際、この方法により品種改良されたものが兵庫県下で養殖され、良い結果を得ています。二回に亘りやや専門的なお話をしてきましたが、昔ながらのノリ養殖も、バイオテクノロジーの力で新しい道を歩もうとしています。今後、味が良く/病気に強いといった究極の品種が出来るかも知れません。(N)

### 編集後記

◆21世紀に向け望ましい水産業はどう在るべきか。安定的な水産物の供給という国民の負託に応えることが責務。採る漁業からつくり育てる漁業の一層の推進も重要なこと。漁業基本法の早期制定が待たれる。

◆謹賀新年/己卯の年。卯とは二枚扉の開く形を表し、ウサギの耳を連想する所から、この字に造るという。卯が示す方角は真東、季節は春3月を表し、時刻なら午前6時にあたる。(遊)



<p>網干漁業協同組合</p> <p>代表理事組長 塚 瀬 三代司</p> <p>姫路市網干区興浜二〇九三一一三三</p> <p>電話(〇七九二)七四一〇三〇四</p>	<p>福浦漁業協同組合</p> <p>代表理事組長 有 吉 智</p> <p>赤穂市福浦三七九一一</p> <p>電話(〇七九一四)三一〇六〇九</p>	<p>佐野漁業協同組合</p> <p>代表理事組長 畠 田 正 夫</p> <p>津名郡津名町佐野二〇二九一一</p> <p>電話(〇七九九)六五一〇〇五四</p>	<p>室津浦漁業協同組合</p> <p>代表理事組長 岡 野 朝 義</p> <p>津名郡北淡町室津二四二九一八</p> <p>電話(〇七九九)八四一〇〇一四</p>	<p>津居山港漁業協同組合</p> <p>代表理事組長 木 下 清</p> <p>豊岡市津居山三二七</p> <p>電話(〇七九六)二八一五三二</p>
<p>家島漁業協同組合</p> <p>代表理事組長 中 村 庄 助</p> <p>飾磨郡家島町宮二〇一一</p> <p>電話(〇七九三)五一〇〇〇七</p>	<p>由良町中央漁業協同組合</p> <p>代表理事組長 社 家 竜 治</p> <p>洲本市由良一一七二五一一四</p> <p>電話(〇七九九)二七〇五五五</p>	<p>釜口漁業協同組合</p> <p>代表理事組長 濱 邊 頼 光</p> <p>津名郡東浦町釜口四二五</p> <p>電話(〇七九九)七四一五三六</p>	<p>一宮町漁業協同組合</p> <p>代表理事組長 魚 井 久 喜</p> <p>津名郡一宮町家一三五五</p> <p>電話(〇七九九)八五一〇〇二二</p>	<p>竹野浜漁業協同組合</p> <p>代表理事組長 片 山 平 嗣</p> <p>城崎郡竹野町竹野五〇五一六</p> <p>電話(〇七九六)四七一二八八</p>
<p>坊勢漁業協同組合</p> <p>代表理事組長 桂 正 明</p> <p>飾磨郡家島町坊勢六九七</p> <p>電話(〇七九三)六一〇三三一</p>	<p>由良漁業協同組合</p> <p>代表理事組長 岡 西 義 康</p> <p>洲本市由良二一六一二三</p> <p>電話(〇七九九)二七〇〇五一</p>	<p>飯屋漁業協同組合</p> <p>代表理事組長 戎 哲 路</p> <p>津名郡東浦町飯屋一一二一一</p> <p>電話(〇七九九)七四二〇五七</p>	<p>五色町漁業協同組合</p> <p>代表理事組長 柳 隆 行</p> <p>津名郡五色町都志方歳四九四一</p> <p>電話(〇七九九)三三二〇〇五九</p>	<p>柴山港漁業協同組合</p> <p>代表理事組長 村 瀬 晴 好</p> <p>城崎郡香住町沖浦九一一八</p> <p>電話(〇七九六)三七〇三〇一</p>
<p>苅屋漁業協同組合</p> <p>代表理事組長 浜 本 良 一</p> <p>播磨郡御津町苅屋六八二</p> <p>電話(〇七九三)二一〇五八六</p>	<p>東由良町漁業協同組合</p> <p>代表理事組長 竹 田 修 二</p> <p>洲本市由良四一六七一七</p> <p>電話(〇七九九)二七〇二二三</p>	<p>森漁業協同組合</p> <p>代表理事組長 森 吉 一</p> <p>津名郡淡路町久留麻二〇五一一五</p> <p>電話(〇七九九)七四二二〇五</p>	<p>湊漁業協同組合</p> <p>代表理事組長 杉 谷 佳 數</p> <p>三原郡西淡町湊一一〇〇</p> <p>電話(〇七九九)三六一二〇二〇</p>	<p>香住町漁業協同組合</p> <p>代表理事組長 吉 岡 修 一</p> <p>城崎郡香住町若松七七七</p> <p>電話(〇七九六)三六一三三三</p>
<p>岩見漁業協同組合</p> <p>代表理事組長 井 上 仁</p> <p>播磨郡御津町岩見二三八一五</p> <p>電話(〇七九三)二一〇〇二四</p>	<p>洲本漁業協同組合</p> <p>代表理事組長 鯛 正 次 郎</p> <p>洲本市海岸通一一六一一八</p> <p>電話(〇七九九)三二一〇五六八</p>	<p>浦漁業協同組合</p> <p>代表理事組長 新 阜 龜 吉</p> <p>津名郡東浦町浦八四二一三</p> <p>電話(〇七九九)七四一三〇一</p>	<p>丸山漁業協同組合</p> <p>代表理事組長 小 川 守 男</p> <p>三原郡西淡町阿那賀一四六三二六</p> <p>電話(〇七九九)三九一〇〇五</p>	<p>浜坂町漁業協同組合</p> <p>代表理事組長 川 越 榮 一</p> <p>美方郡浜坂町岩屋六六三一</p> <p>電話(〇七九六)八二一三三〇</p>
<p>室津漁業協同組合</p> <p>代表理事組長 中 川 三 二</p> <p>播磨郡御津町室津四九三二二地先</p> <p>電話(〇七九三)四一〇三三一</p>	<p>炬口漁業協同組合</p> <p>代表理事組長 西 岡 美 彰</p> <p>洲本市炬口一一</p> <p>電話(〇七九九)三二一〇三六七</p>	<p>淡路町漁業協同組合</p> <p>代表理事組長 高 橋 伊 勢 雄</p> <p>津名郡淡路町岩屋一四一四一</p> <p>電話(〇七九九)七二一三〇四六</p>	<p>阿那賀漁業協同組合</p> <p>代表理事組長 坂 口 美 之 助</p> <p>三原郡西淡町阿那賀九八三一一三</p> <p>電話(〇七九九)三九一〇〇一〇</p>	<p>由良町漁業協同組合連合会</p> <p>代表理事組長 社 家 竜 治</p> <p>洲本市由良三三五一一地先</p> <p>電話(〇七九九)二七一〇六〇</p>
<p>相生漁業協同組合</p> <p>代表理事組長 鳥 井 勝 明</p> <p>相生市相生三二四一一二</p> <p>電話(〇七九二)二一〇三四四</p>	<p>塩田漁業協同組合</p> <p>代表理事組長 福 谷 良 重</p> <p>津名郡津名町塩田六一五一一四地先</p> <p>電話(〇七九九)六二一〇一七四</p>	<p>富島漁業協同組合</p> <p>代表理事組長 小 西 正 治</p> <p>津名郡北淡町富島字小倉浜九四〇</p> <p>電話(〇七九九)八二一〇〇一八</p>	<p>福良漁業協同組合</p> <p>代表理事組長 村 上 進</p> <p>三原郡南淡町福良乙二六五一一一</p> <p>電話(〇七九九)五一〇〇六四</p>	<p>明石市水産加工業協同組合</p> <p>代表理事組長 藤 原 正 寿</p> <p>明石市林三一九一一三</p> <p>電話(〇七八)九三二一三三八六</p>
<p>坂越漁業協同組合</p> <p>代表理事組長 江 崎 巖</p> <p>赤穂市坂越七九五一</p> <p>電話(〇七九一四)八一八〇四五</p>	<p>志筑浦漁業協同組合</p> <p>代表理事組長 柏 木 和 三 郎</p> <p>津名郡津名町志筑三三二八一一三</p> <p>電話(〇七九九)六二一〇〇六九</p>	<p>浅野浦漁業協同組合</p> <p>代表理事組長 志 田 友 安</p> <p>津名郡北淡町斗ノ内一六九四</p> <p>電話(〇七九九)八二一〇〇六四</p>	<p>南淡漁業協同組合</p> <p>代表理事組長 前 田 吉 計</p> <p>三原郡南淡町灘土生四五</p> <p>電話(〇七九九)五六一〇〇〇二</p>	<p>淡路島水産加工業協同組合</p> <p>代表理事組長 柴 田 武</p> <p>津名郡津名町佐野二七八一一</p> <p>電話(〇七九九)六五一〇〇七〇</p>
<p>赤穂漁業協同組合</p> <p>代表理事組長 耳 田 龍 夫</p> <p>赤穂市御崎一七九八一</p> <p>電話(〇七九一四)五一二二六〇</p>	<p>生穂漁業協同組合</p> <p>代表理事組長 松 原 幸 次</p> <p>津名郡津名町生穂一五五三一一七</p> <p>電話(〇七九九)六四一〇一〇七</p>	<p>育波浦漁業協同組合</p> <p>代表理事組長 丸 一 芳 訓</p> <p>津名郡北淡町育波一四八一一三</p> <p>電話(〇七九九)八四一〇〇三一</p>	<p>沼島漁業協同組合</p> <p>代表理事組長 青 石 協</p> <p>三原郡南淡町沼島三三六八一</p> <p>電話(〇七九九)五七一〇二四六</p>	<p>香住町水産加工業協同組合</p> <p>代表理事組長 西 川 勇</p> <p>城崎郡香住町香住一八五四</p> <p>電話(〇七九九)三六一二〇三</p>

●サンテレビの

# こちら海です



♪ 焚き火の熱気で、足が焼きイモならぬ  
焼き大根寸前!! アッチッチ:



♪ 神戸ビーフにまつわる、神戸港の歴史をレポート:  
イエイエINGを笑顔でごまかしている所です



♪ 立派な津居山ガニに思わずニコリ…ゴックン

【'98年12月20日放送  
第1108回】

## 口々だより

冬恒例!! 兵庫自慢の鍋料理 〈神戸市・洲本市・豊岡市より〉

ある統計によりますと、東京では一カ月平均九・二回、関西では十三回と東西を問わず冬には鍋料理をするという傾向があります。温かいものが食べたい時、家族が揃った時、鍋料理は冬の家庭料理の代表格と言えるでしょう。今回は神戸肉の「すき焼き」と淡路島では旬の魚に拘り続ける割烹料理屋さんで「おこぜ」を、そして但馬では、ブランド化した「津居山がに」と厳選した鍋を選びました。神戸のすき焼きは神戸の歴史と深い関係があります。日本人と牛肉の歴史は古く、種牛として名高い但馬牛は紀元前に導入されたと言われています。宗教的理由で禁止された時代を経て、一五四九年のキリスト教伝来以来南蛮交易と共に牛肉を食べる習慣が復活しましたが、鎖国時代は再び禁止の時代。しかし慶応三年、神戸港が開港、明治五年には牛食が解禁となり、横浜で牛鍋屋が、神戸ではすき焼き屋が大いに繁盛したのです。今回訪ねたのは開港によって入港した外国船の要請に逸早く答え、牛肉を提供した神戸駅近くの大井肉店です。すき焼きの語源は、屋内や神棚の近くで牛肉を食べることを嫌った時代に外で農作業に使う鋤で肉を焼いて食べたところから「すき焼き」の名が付いたと言われています。因みに関東の一番人気の鍋料理はすき焼きです。

次に訪ねたのが淡路島の洲本ヨットハーバーのすき焼き「割烹大古田」。この店には何とメニューがないのです。メニューを作れば気に入らない魚でも仕入れないといけないのでメニューはなしと言う主人の大古田耕平さん。大古田さんが大事にされているものに「お客さんが料理人を育てる」と言う言葉があります。この店に来ればこんな問答で食べたいものを注文して下さい。客「刺身を食べたいのですが今日はどんな魚が」料「鯛・平目・鰯等如何？」客「二人で予算一万円位の鯛ありますか」料「適当なのがござります」客「では、片身を刺身に」料「もう片身は塩焼きと煮付け、頭は蒸し物と潮汁にいたします」客「いや片身は鍋で」料「分かりました」とこれで食べたものと客が「一挙解決」です。この日の材料は「おこぜ」。片身の上身で「薄作り」、内蔵の肝と胃袋は「刺身」、ヒレは「蒸し物」、そして片身を「鍋」と予算八千円で見事なおこぜの割烹が出来上がったのです。味・香・ところが勝ちすぎてもお客さんには満足して頂けない。十八才から二十数年の調理師生活で学んだことは素材の力には到底叶わないと言ったことだったと言った大古田さん、後、縁も由縁もない淡路へ来て十一年、その味は絶品でした!

一般に、兵庫県の但馬で松葉がにと呼ばれるスワイガニ。豊岡市の津居山漁協では、津居山沖から京都府の沖・所謂・港の近場で漁獲されるスワイガニを「津居山がに」とブランド名で呼ぶようになりました。スワイガニは高いものと言っ先入観がありますが、今回はプロに相談するのが一番と勉強しました。見落としそうなのかなキズで値段も違えば料理法も違って来ます。焼きがににやかにすきにはキヌ物で十分、刺身・焼き・かにすきなど用途・値段を伝えればお買い得で美味しいかに入ります。